



第 41 回

平成 28 年 6 月 27 日

No.1391

会 長 木 村 成 淑
幹 事 藤 田 敬 治

会長スローガン

「想えば叶う」

例会日／毎週月曜日 12:30～

例会場／トキハ会館 4F

TEL 097-532-0611

FAX 097-532-8386

Email : oita1985rc@mist.ocn.ne.jp

ホームページ : www.oita1985rc.jp



■ 本日のプログラム (6月27日)

12:30 点 鐘
会 食
ロータリーソング 「四つのテスト」
ゲスト・ビジターの紹介 会 長 木 村 成 淑
会 長 の 時 間 会 長 木 村 成 淑
出 席 報 告 出席担当 西 岡 一 雄
幹 事 報 告 幹 事 藤 田 敬 治
委 員 会 報 告 「関係委員会」
ニコニコタイム 坂 本 肇

19:45 国際大会の報告 ～DVD鑑賞会～

■ 第40回例会の記録 (6月20日)

・出席報告 (6月20日)

会 員 総 数	16 名
6 月 20 日	
出 席 免 除	2 名
出 席 会 員 数	13 名
出 席 率	81.25 %
ゲ ス ト	0 名
ビ ジ タ ー	27 名 (サインのみ)
6 月 6 日	
修 正 出 席 率	64.28 %

■ 次週の例会 (第1回 7月4日)

卓話の時間：吉良会長・穂田幹事の挨拶

ロータリーソング

【四つのテスト】

真実かどうか みんなに公平か
好意と友情を深めるか
みんなのためになるかどうか

会長の時間 (6月27日) 会 長 木 村 成 淑

今日で会長の時間は最後となります。思えばロータリー歴30年にして会長となりました。自分では最後まで会長を続けるのは無理だと思っていました。会員の皆様にはご迷惑をかけっぱなしの1年間でした。深く反省しています。特に幹事の藤田会員と事務局の佐藤さんには大変お世話になりました。1年間会長をやらせていただいて人間的にどれほど成長したのかわかりませんが、週1回必ず800字ほどの文章を書くというのは、非常にきつく、締切に追われている一週間でした。そのためにいろいろとネタを集めようとしていまして、その中でも使わなかったものがいくつかあります。1つはUSJの森岡氏の「人間って不思議なもので、追い詰められて重圧がかかると、自分自身も意識してない遺伝子が目を覚まして、とんでもない能力が覚醒したり、アイデアの神様が降りてくることがあるんです。ある問題について、地球上で最も必死に考えている人のところにアイデアの神様は降りてくる。」というのがあります。この原稿にしてもそうですが、人生追いつめられるピンチのときこそ、隣にチャンスがいるものだと思います。相田みつを氏が相田一人氏に言ったことばにも人生のプロの心があります。相田みつを氏が疲れてゴロンと横になって、指で天井に字を書いていた。息子の一人君が「何してるの」と聞くと「プロというのは寝ても覚めても仕事のことを考えている。生活すべてが仕事。そこがアマチュアとの絶対的な差だ。」と言ったそうです。御二人に共通しているのは、経営者にしろ文筆家にしろ一つの道で大成した人は、その道のことを24時間ずっと考え続けているし、不断の努力を惜しまず、その道の神様が降りて来るまでやりぬいていたということです。私も60才を迎える前にこのことを考えて自分自身をもう一度見つめ直して7月からまた、がんばりたいと思います。会員の皆様も一年間いろいろありがとうございました。お元気で。



木村会長不在で残念ではありましたが、高野会員もまだまだのお体でご出席くださいました。

そして何より久しぶりの佐藤会員のご出席で、皆で楽しい時間を過ごせました。

全員より一言ずつの今年度を振り返った感想を話してもらい、来年度に向けてまた新たに頑張りたいと多くの意見をもらいました。

奉仕活動計画

【奉仕プロジェクト】

クラブ管理運営総括 高山泰四郎

委員会活動方針

- ・本委員会は、奉仕プロジェクトに所属する各委員会が、充実した良い奉仕活動を行うために、各委員会の連携、調整を図り、目標達成の協力支援をする。
- ・各委員会が実施する奉仕活動に会員全員が自主的に参加する事を奨励する。又、クラブ広報委員会と連携して活動内容を外部にアピール発信してゆく。

● 職業奉仕 委員長 藤田 敬治

<奉仕計画>

自己の職業が地域社会の中において、どのような形で社会問題やニーズに役立っているかを再認識するとともに、ロータリークラブで得たものを実践に移すことを目標に掲げ、下記の事業を実践します。

1. 「四つのテスト」を通じて道徳的水準の向上を図る。
2. 職場訪問例会の開催（年2回）
 - ・他クラブの会員職場例会も検討する。
3. 会員卓話の実施
 - ・全会員から、自己の職業（企業）と社会貢献の関わりについての卓話をお願いする。

<予算> 職場訪問謝礼 20,000円

● 社会奉仕 委員長 藤本 保

<奉仕計画>

現在の当クラブの会員数では実行できることに限りがある。そこで、大分市内8クラブが共同して行う奉仕活動には積極的に参加し、また、我々自身に独自に実行可能なことは逐次計画し、身を以て行動する。熊本・大分の震災復興には、今できることから始める。また、大分いのちの電話・おぎゃー献金については継続支援する。

<予算>	おぎゃー献金	1,000円×16名=16,000円
	大分いのちの電話	1,000円×16名=16,000円
	合計	32,000円

ニコボックス

★佐藤正哲会員（自主2口）

先日無事に、免許の切り替えを終えました。後1回行いたいと思っています。出来るように頑張ります。

★穂田英一郎会員（自主1口）

開業15年を機に、個人事務所でありました弊所を法人成りました。企業の許可支援に特化した分野では県内1号と思います。法人の発展を記念して1口。